＝平成３０年度早川南小学校だより＝

はるき

平成３０年４月２５日
No.４
校長　坂 野 修 一

小さいけれど、笑顔はでっかい！

小さいけれど、笑顔はでっかい！
日本一 人口が少ない町の 素敵な学びができる学校
小さな学校に対する大きな誤解
学力がつかない？
社会性や協調性が培われない？
競争意識がなくなってしまう？
早川町教育委員会

体育館に通じる扉の入り口に、『小さいけれど、笑顔はでっかい！』と書かれている、少々色あせた新聞の切り抜きが掲示されています。先月２７日、事務手続きとして初めて早川南小に来た時に気づいた掲示物です。その新聞の右肩には、平成２６年８月３１日 山日と書いてあります。その新聞に書かれている記事を私が読んだ時、「早川町の教育施策は素晴らしいなあ。よし、この学校で頑張るぞ！」と思った次第です。記事の紹介です。

大きな見出しの下には　日本一　人口が少ない町の 素敵な学びができる学校　と書かれています。そして、大事なことが４点に分けて書かれています。

◎小さな学校に対する大きな誤解

早川町には小さな学校しかありません。しかし、それぞれの学校がキラキラと輝く教育を目指し、実践しているのです。私たちの将来を担う子どもたちは、町の宝です。皆さんは小さな学校をどのように思っていますか。本当に小規模の学校は子どもたちの教育にとって不利な条件だけでしょうか。皆さんが誤解していることはありませんか。

◎学力がつかない？

…いいえ、そのようなことはありません。義務教育では教科書に沿って、全国どこでも人数に関わらず同じ教育を行っています。子どもたちが受ける教育はそれ以上でも、それ以下でもありません。むしろ先生と子どもたちが向き合う時間は小さな学校のほうが多いのです。子どもたちが先生と向き合う時間が多いことにより、つまずきなどが改善される可能性は高くなります。

◎社会性や協調性が培われない？

…いいえ、大きな学校では上級生や下級生と交流することはなかなかできません。同級生という横のつながりの中で学ぶ機会が多くなってしまいます。しかし、小さな学校では同級生はもとより上級生や下級生と学ぶ機会が多く、子どもたちは上級生を慕い、下級生を思いやる気持ちが自然と身に付きます。

◎競争意識がなくなってしまう？

…確かに競争心はいろいろな面で子どもたちを向上させていくものですが、果たして人数の多い学校だからこそ競争心が養われるのでしょうか。本当に必要な競争心とは、人に対してではなく、学びや生活などに対する向上心なのです。学校の大小には関係なく子どもたちと家庭そして教職員の努力によって培われていくものなのです。

昨日、今年度第１回目の山村留学連絡協議会が開かれました。早川南小学校にも、山村留学の子どもたちを増やしていくことが急務であると感じた会議でした。行政と学校と地域がどんな手を打てるか考えた時、まずは「**学校としての情報発信**」は欠かせないものであると思っています。FB、HPの更新はなるべく頑張ります！保護者の皆様においては、それをシェアするなどのさらなる拡散にご協力いただけたらと思います。よろしくお願いします。　　通行止めにならなくて良かった(^.^)